平成 30 年 8 月 29 日

厚生労働省
老健局長　大島 一博 殿

科学的裏付けに基づく介護に係る検討会
座　長　鳥羽 研二 殿

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
会 長　石 川　憲

公益社団法人全国老人保健施設協会
会 長　東　憲太郎

公益社団法人日本認知症グループホーム協会
会 長　河 﨑　茂 子

「介護分野における今後のエビデンスの蓄積に向けて収集すべき情報」について（要望）

「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」より示された、平成30年3月30日付の標題中間とりまとめの基本方針では、「介護現場の業務負担の軽減が喫緊の課題とされている現状に鑑みれば、データ収集の負担は極力少なくすることが求められる」とされています。CHASEの初期仕様案は既存データを利用するなど、収集方法において一定の配慮がされていますが、現場への業務負担は増えるのではないかと懸念しています。

本人の希望にそった自立支援に向けた介護に資するデータを収集する際の評価指標は、次のような要件を満たすべきではないでしょうか。

(1)　科学的裏付けに基づき利用者の生活機能の変化の把握が可能であること

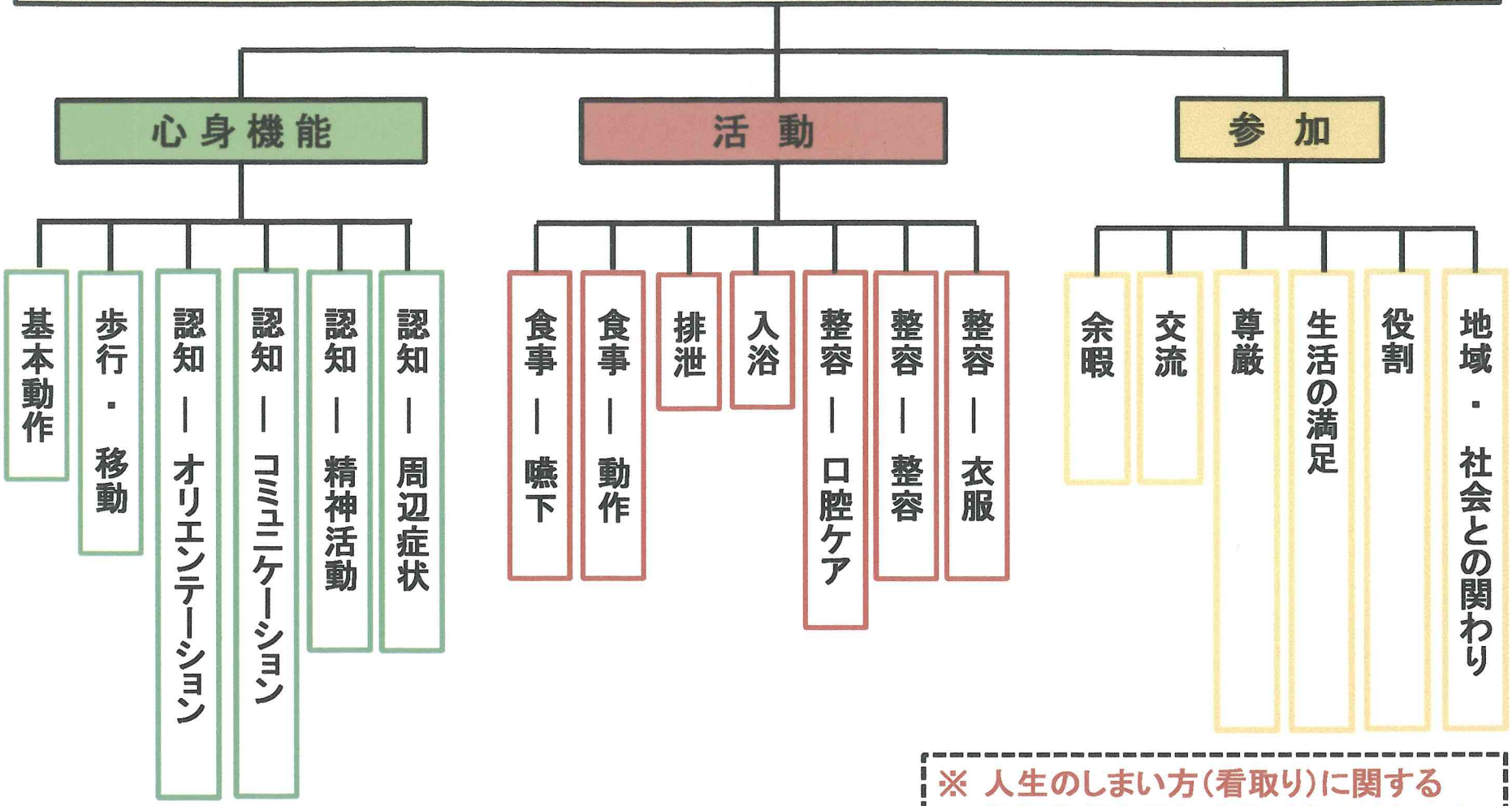
(2)　評価者により差が出る「一部介助」等の曖昧な基準を使っていないこと

(3)　どの職種でも評価でき、将来的にICT等によるデータ収集等、省力化の可能性が見込めること

これらの要件を満たす指標の参考例として、「ICFに基づいた介護現場における適切な評価指標」をお示しするとともに、本人の希望にそった自立支援に資する科学的裏付けに基づく介護の確立に向け、少ない負担で有益なデータを収集する方策について改めてご検討いただきますよう、介護現場から要望致します。

以上

ICFに基づいた介護現場における適切な評価指標（案）

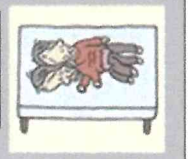


※ 人生のしまい方（看取り）に関する
評価指標も追加するべきではないか

注）「している」・「していない」の評価で、
心身機能・活動・参加について簡易に評価できる。

ICFに基づいた介護現場における適切な評価指標（案）の具体例

心身機能～「基本動作」の評価指標

			ステージ	状態	状態のイメージ
立位の保持	つかまらずに一定の時間立位を保つこと。	行っている	5	両足での立位の保持を行っている。	
		行っていない	4	立位の保持は行っていないが、座位での乗り移りは行っている。	
座位での乗り移り	車椅子などからベッドへ移動する時のように、ある面に座った状態から、同等あるいは異なる高さの他の座面へと移動すること。	行っている	3	座位での乗り移りは行っていないが、座位（端座位）の保持は行っている。	
		行っていない	2	座位（端座位）の保持は行っていないが、寝返りは行っている。	
座位（端座位）の保持	ベッド等に、背もたれもなく“つかまらない”で、安定して座っていること。（端座位）	行っている	1	寝返りは行っていない。	
		行っていない			
寝返り	寝返りをすること（つかまる・つかまらないに関わらず）。	行っている			
		行っていない			

参加～「余暇」の評価指標

			ステージ	状態	状態のイメージ
旅行	旅行に行く（家および施設を1日以上離れる、施設から家への一時帰宅を除く）。	している	5	施設や家を1日以上離れる外出または旅行をしている。	
		していない	4	旅行はしていないが、個人による趣味活動はしている。	
個人の趣味活動の実施	個人による趣味活動の実施。	している	3	屋外で行うような個人的趣味活動はしていないが、屋内でする程度のことはしている。	
		していない	2	集団レクリエーションへは参加していないが、一人でテレビを楽しんでいる。	
レクリエーション	集団での体操などの集団レクリエーションへの参加。	している	1	テレビを見たり、ラジオを聴いていない。	
		していない			
テレビ	施設内や家でテレビを見る。	している			
		していない			